

あっかん 行水寒圧

平成 27 年 1 月 11 日 (日)、**普門山慈眼院** (佐原 5 丁目) にて**新年祈禱祭**が開かれ、毎年恒例の僧侶による水行が行われました。大勢の観客が見守る中、修行僧 3 名が経文を唱えながら、ふんどし一枚で冷たい水をかぶりました。修行僧の浴びた水しぶきには、心身の洗浄のご利益があるそうです。

椎名寛尚副住職



椎名純尚住職

水行は日蓮宗の修業の 1 つです。400 年の伝統をもち厳冬の修業を積んだ者だけが行う事が許されます。

「水行は心がすがすがしく、煩惱を脱し悟りを開くことへ向かっています。お経の力は生きている方へも届きます。」と、寛尚さん。



水行の水しぶきで身を清めた後は、慈眼院さんより温かい“おしるこ”が振る舞われました。

水行をする副住職 (中央) と修業を共にした仲間の修行僧 2 名



久里浜行政センター